

[002] 語文研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/10265>

出版情報：語文研究. 2, 1955-05-10. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：



復刊に際し会員の皆さんへ

福 田 良 輔

「語文研究」創刊号が発行されてから滿四年を経た今日、漸く第二号を発行する運びに至りました事は、会員の皆さんの誠意と理解とに基づき御支援の賜であり、心から感謝致しますと共に、まことに御同慶の至りに堪へません。と同時に、この際皆さんと共に、われわれの研究機関誌「語文研究」に対する心構へを新たにしたいと思ひます。

「語文研究」は、前会長小島吉雄先生が卒業生・在学生の研究心に応へるため、年報的機関誌として発行を提唱されたものであります。年報的機関誌とされたのも深い理由がある事であつて、その理由は各自冷静に再考していただければ、分かる事と思ひます。雑誌発行は月刊が理想的でありませうし、わたくし一個人としても、是非さうありたいと希つてをりますが、到底許されないいろいろな事情がありまして、理想の実現は今後の発展に期待するよりほかありません。

「語文研究」の経営には幾多の困難を伴ふ事を豫期しながら、皆さんの切実なる要望と物心両方面に亘る大の援助とによつて復刊しました以上、万難を排して経営して行きたいと堅く決意いたしてをります。ついでに、「語文研究」が会員の研究雑誌として健全な生長発展の歩みを続けて行くために、皆さんが小異を捨て大同に就き、和衷協同して御援助いただくやうお願い致します。また、雑誌発行には会員の旺盛な研究意欲が何よりも肝要と思はれます。力作の好論文をどしどしお寄せ下さいまして、編集係が原稿不足に悩まされないやうお願い致します。

復刊を機会に、皆さんと共に覚悟を新たにすると共に、今後一層の御協力と御援助とをお願い致します。

(昭和三十年三月三十日)